

第34回総会テーマは

「ITだけでは やじゃがね 会って話そ！」



(写真提供 鶴岡市役所)



題字は初代会長 故田倉八郎氏筆

第 34 号

発行 東京鶴翔同窓会
発行人 安野 正紀(66回)
編集人 中野 正晴(66回)
事務局 荘内銀行 東京支店内
〒101-0047
東京都千代田区内神田2-16-9
TEL.03-3256-8911

宣伝物の企画から印刷まで
株式会社 日本商業宣伝社
〒162-0041
新宿区早稲田鶴巻町567
TEL.03-5287-5885(大代表)
佐藤 成生 (59回)

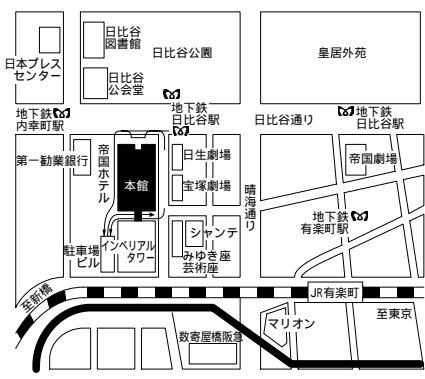
「ITだけでは、やじゃがね。会って話そ！」です。
エレクトロニクスの発達を背景にこのところITの発達には目を見張るものがあります。反面、ITが発達すればする程、人々の気持ちが無機質に人々に伝え広がり、私たちが使ってきた庄内弁が持つ豊かな情感や温かさが失われつつあります。このような今こそ、顔を突き合わせながら庄内弁で語り合いたいものです。
昨年は、たそがれ清兵衛「人気から庄内弁が国内のみならず海外でも注目を集めました。今年は庄内弁の本場出身である私たちが六月二十六日(土曜日)、帝国ホテルに集い、友人や知人と大いに語りあつて盛り上がることにしましょう。」

第34回 東京鶴翔同窓会のご案内

日時：平成16年6月26日(土)
13:00～15:00(受付開始12:30)
場所：帝国ホテル 本館中2階「光の間」
千代田区内幸町1-1-1
電話 03(3504)1111(代表)
会費：一般会員 9,000円
高齢会員(49回卒以前) 4,000円
大学・専門学校会員 4,000円
他に東京鶴翔同窓会年会費、一口1,000円以上
出欠の返事

出欠の返事は5月31日(月)までに同封のハガキまたは東京鶴翔同窓会ホームページにてお願いします。
・ホームページアドレス <http://www.tokyokakushou.com>

交通のご案内



「ETだけでは、 やじやがねぞ」



東京鶴翔同窓会会長
櫻井 文子
(63回卒)

東京鶴翔同窓会の皆様 お元気で
ご活躍のことと存じます。

でんと居座った「不景気」の他に、
最近では日本列島に不気味な「ウイル
ス」が跋扈しております。ウイルス
の脅威と言えば、これまでは私にと
ってパソコン上のことでしたが、今
や食生活に直結した、とても身近な
恐怖となりました。過去の戦争の亡
霊がうごめき出すような危うい雲行
きに、人とウイルスとの熾烈な闘い
までもが加わったわが国の状況に、
深い溜息が出てきます。

でも、確実に季節は巡り、また、
皆様にお会いできる「総会」が近づ
いてきました。今年の総会のテーマ
は、「ETだけでは、やじやがね。会
って話そ！庄内弁で」です。毎年
の実行委員の方々が実にユニーク
の射たテーマを選んで下さることに
感心してきましたが、今年のテーマ
も「グーツ！」ですね。ご存知「た
そがれ清兵衛」が、日本国内だけで
なく、世界にも庄内弁を振り撒きま
した。あの柔らかな物言いに、改め
て誇りと懐かしさを覚えたのは、私
だけではないと思います。しかし、

いくら庄内弁が懐かしいからとい
て、ひとりでは庄内弁を喋るわけには
いきません。同じ庄内出身の大勢の
皆様とお会いする総会で、少々サビ
ついた庄内弁を大いに使おうと、今
から楽しみにしています。

さて、「ETだけでは、やじやが
ね」の方ですが、最近、これにびつ
たりの体験をしました。

私の翻訳の成果物は、通常、CD
に入れて宅急便で送り、担当者との
連絡は、Eメールで行うので、昔の
ように会社の人たちと会うことがな
くなってしまいました。忙しいとき
はとても便利ですが、時折、昔が懐
かしくなります。そこで先日思い切
って次のようなメールを送りました。

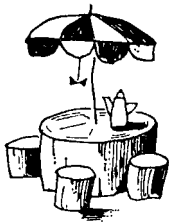
「……いくら、電話があり、メール
があり、宅急便があっても、直接お
会いしたときの「ぬくもり」には勝
てません。ビジネス感覚だけでは寂
し過ぎます。たまには、能率が悪く
ても顔を合わせることは大事だと思
います。ご迷惑でなければ、納品を
手渡ししたいと思えますが如何でし
ょうか。」

嬉しいことに、「是非いらして下さい」

い」との返信があって、出かけて行
きました。昔から知っている古い
(?)人だけでなく若い人も加わっ
て、ひとしきりお喋りをし、何か
満たされたような気持ちになって帰
ってきました。

なんだか自慢話になってしまいま
したが、ETの奔流にささやかでも
ブレーキをかけていかないと、どん
どん人間関係が希薄になって、冷や
やかな世の中になってしまおうよう
な不安が拭いきれません。

皆様、お会いしましょう！ 黙っ
て年会費を払って下さって、遠くか
ら見守って下さる同窓会の方々も、
どうかたまには総会・懇親会に顔を
見せてください。特に今年は昔取っ
た杵柄で、庄内弁で大いに語り合
いませんか。帝国ホテルの光の間に庄
内弁が充滿するなんて、想像した
だけでもワクワクしてきませんか？



SIGN EVENT SUAL

COMS
株式会社 コムズ

東京都中央区京橋3-12-1 エコー京橋ビル
Phone 03-3562-5201 Fax 03-3562-5207 itagaki@coms.co.jp (66回卒)

グランドエル・サン **アク・サン**

〒997-0801 〒997-0802
山形県鶴岡市東原町17-7 山形県鶴岡市伊勢原町9-22
TEL 0235 (24) 4633 TEL 0235 (29) 0033

早坂 剛 (65回卒)

地域の皆様に配慮した新しい冠婚葬祭企業をめざしております

(有) 造建築事務所

一級建築士 **佐藤 誠 (66回卒)**

〒154-0017 東京都世田谷区世田谷3-11-8-1015
TEL.FAX.03-3426-4715

同期の再会 5x5 プラン **四大特典**

ふるさとの友、学びの友と思い出、希望を語る。
同期の厄払い、還暦・古稀のお祝いに。

12,000円 (送迎バス有り)

- 記念写真全員に当日仕上げ
- お飲み物付きコース(2時間限定) ビール、日本酒、焼酎、自然水、ウーロン茶、ジュースのご用意
- 宴会場カラオケサービス
- デザートサービス (女性に)

〒997-1114 鶴岡市大字千安京田字龍花山1-1
TEL 0235-76-3211 FAX 0235-76-3213
E-mail:ikoi-s@circus.ocn.ne.jp

方言の暖かさ



鶴翔同窓会会長
石黒 慶一
(67回卒)

第34回東京鶴翔同窓会総会が本年は66回同窓生を中心に盛大に開催されますことを心よりお慶び申し上げます。テーマは「E.T.だけではじやがね。会って話そ！」(庄内弁で語ろう)と伺っておりますが、現在の希薄な人間関係を見つめ直す良い機会になるものと期待しております。

養老孟司のベストセラー「バカの壁」によれば、「話せば判る」なんて大嘘であり、知りたくないことに耳を貸さない人間には話は通じないし、知りたくないこと、自分の考えと異なることには自分から「バカの壁」をつくってしまうということです。その点、方言はこの「バカの壁」を取り払う唯一の魔法の力ギかもしれません。方言は言葉という機能を越えて、心に響き、心を揺さぶるものであり、大切にしなければならぬものと考えます。私も初めて東京に出たとき、庄内弁が恥ずかしい、格好悪いという思いが若いときにはやっぱりあって無理に庄内弁を直そうと努力した記憶もあります。しかし、友達と会った時に使った庄内弁に「心のやすらぎ」を感じたことも何度か

ありました。

また、昨年公開された山田洋次監督の藤沢周平原作の「たそがれ清兵衛」は庄内弁をそして庄内弁を全国版にしてくれたのではないかと思います。映画の中で使われた「しえば」という言葉が東京でもサラリーマンの共通の挨拶にもなっているともマスコミ報道で聞いたことがあります。短い言葉の中に人の心を和ませ、標準語では表せない地に足のついた深い表現力をもつ方言の魅力に誇りを持つことが大切です。しかし、「方言」の良さを過去を懐かしむことだけで終わらせてはなりません。そこに「未来への道」を育むことが求められているのです。後輩と方言を介しての意思疎通が図られ、そこから先輩を見習い、優秀な後輩の心を創り上げることが同窓会の主要な役目と考えておりますので、全国的に活躍されております東京鶴翔同窓会の皆様には、「郷里・方言への愛着」を通して後輩を導いて頂きたいと思っております。

本年2月28日に亡くなられた庄内藩第17代当主、元鶴翔同窓会会長の

酒井忠明氏は、郷里鶴岡の精神的な支柱であったと思えます。そこには格調ある庄内弁での語りがあったと想い出されます。酒井元会長を追慕しながら、今回の総会で庄内弁での語らいが、より一層の同窓生の絆を強くするものと期待致します。

各地の伝統方言は、今そのいずれもが消滅の危機に瀕していると言われ、人類文化の多様な形成過程を示す貴重な要素が今まさに失われつつあります。一方、地域人の意識にも方言のもつ魅力に肯定的な評価が生まれてきており、現在の殺伐とした世相への潤滑油としての方言の意義がそこにあるのかもしれない。

最後に、第34回東京鶴翔同窓会総会のご成功、東京鶴翔同窓会の今後益々のご発展と同窓生の更なるご多幸をお祈り致します。



鶴岡にお越しの節は是非
喫茶 向日葵
佐藤 洋子(加茂荒崎灯台出身)
〒997-0028
鶴岡市山王町13-24(藤吉医院となり)
電話 0235-23-6241

古書買入

お宅にも貴重な本が眠っているかもしれません。捨ててしまう前にぜひ当店までご連絡を。



●古書目録毎月発刊中
お問い合わせ
鶴岡市山王町8-21
☎22-0220

関東管財株式会社
関東警備保障株式会社
営業推進部長 **志藤 達美** (66回)
本社 東京都大田区山王2-5-5 電話03(3777)0344(代)
支社 千葉県野田市野田237 電話04(7125)4747(代)

『お写真は家族の歴史をのこします』
未来を見つめて…110年
(株) 五十嵐写真店
代表取締役 尾形 修三(52回)
03-3211-1548・9
東京都千代田区丸ノ内3-2-3 富士ビルB1F
お宮参り・七五三・入学式・ご家族記念・ご婚礼・シルバーポートレート等のお写真…スタッフ一同、心よりお待ちしております。

IT時代と若者



鶴岡南高等学校長
堀 清一

IT時代に対応するために、高等学校では新学習指導要領で平成十五年度から教科「情報」が必修とされ、生徒はコンピュータの操作技術や情報モラル等について学んでいきます。鶴岡南高校では、コンピュータ室で、大学情報等を検索する生徒が多くなりました。

情報技術の進歩によって、私達は必要とする情報を国内外からインターネットで広く、速く入手したり、携帯電話で必要なときに連絡したり、メールで用を済ましたりなど、便利な生活を過ごすことができるようになりました。

一方、携帯電話の普及と共に、山形県でも出会い系サイト等による高校生の被害が発生しており、危険なものにアクセスしない、自分の身を守る意識など、善悪の判断等についての情報モラルの指導が課題となっています。

携帯電話、メールをはじめ情報技術の進歩は、ともすると、若者が、人と人が対面して話し合うことによるコミュニケーション能力や相手の示す動作などから相手の気持ちを慮

る力を身につける機会を少なくしているようにも思えます。今こそ、大人が、友人や目上の人等と向き合つてじっくりと意見を交わすことで育つ「若者の思いやりの心や社会性」に目を向ける必要を感じています。鶴南の生徒に目を向けて見ると、学習と部活動(加入率93%)の両立に悩みながらも、総体的には充実した高校生活を過ごしていると思えます。

同窓会長さんから提言をいただき、学校評議員と生徒会執行部の生徒との懇談の機会を持ちました。評議員の方から、「自分の言葉で語っていい、素直でまともな意見が出てきた。実際の社会との違いを考えると、今の時代、果たしてそれでいいのかわからない。大学に進んでから法律を知らないために危険な目に遭っている人が増えていると聞いています。」等の感想をいただきました。

IT時代は、若者によき社会人であると共に、危険に対応する術を見つけることを求める時代であり、情報モラルとモラルを無視する人への対応も学ぶべき時代でもあると言え

るかもしれません。学校は、生徒が集団のなかで自らの人間性を陶冶していく場であり、これまで鶴南の卒業生はさまざまな場面に柔軟に対応できる力を身につけて社会で活躍しており、現在の生徒にも精神的にも肉体的にも逞しい、柔軟な思考力を有するリーダーとして社会に貢献してくれるものと期待しています。

東京鶴翔同窓会の皆様には、帰郷の折に、或いは学校のホームページで、鶴南の生徒と意見を交換していただければ幸いです。

山中税務会計事務所

税理士 山中 昊吉 (61回)
社会保険労務士

東京都港区芝五丁目20番7-303号
☎(03)3798-5895(代) FAX(03)3798-5896

どうか皆で見てくだへ！

東京鶴翔同窓会
ホームページ
<http://www.tokyokakushou.com>

『母校・郷土・友』
の情報満載です。

第34回東京鶴翔同窓会への「出欠」の返事もホームページからできます。



Alico Japan

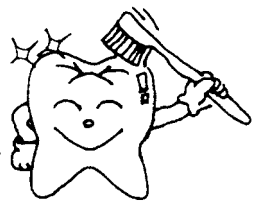
大 泉 正 (85回卒)
(日本ファイナンシャルプランナーズ協会会員 903235)

アリコ ジャパン
アリコファイナンシャルグループ カンパニー

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1-1-1 AIG日本橋本町ビル4階
TEL 03-5203-5871 FAX 03-5202-9006
本社 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-1-3

立教大学正門前
山本歯科医院
院長 山本 和子(66回・旧姓 寺尾)

☎3971-4447
〒171-0021 東京都豊島区西池袋5-10-2 椿ビル2F



お客様にとって、地域にとって、Justな銀行を私達は目指します。

Just One

▲●■ **山形しあわせ銀行**
しあわせテレホンセンター
0120-32-4415

実行委員長からのお願い



第34回東京鶴翔同窓会実行委員長
安野 正紀
(66回卒)

東京の桜もすっかり葉桜になり、若葉の薫る過ごしやすい季節になりました。若者は電子メールで旅館や、飛行機を予約し、行楽地では、家族友人が携帯電話で写真を撮り合う風景が、そこかしこに見られます。地上波テレビでもデジタル放送が始まり6ヶ月、携帯電話でテレビが見られ、遠くない将来に、家庭のテレビで双方向のコミュニケーションができると言われていきます。

インターネットが広がり始めてから10年、還暦をすぎた私でも、毎朝キーボードに触り、いつでもどこでも瞬時につながるITの時代を生きています。血縁、地縁のほかに電子での縁のなかでつながっているのです。

このようなIT時代に、鶴岡中学から鶴岡南高校にいたる「校縁」によつて毎年一回集まって参りました。今年も、メールや携帯では味わえない、人と人との会話を楽しみ、より深い人間味に接し、激励したり、同情したり、ちよつとはかり怒つてみたりしてはいかがでしょう？
藤沢周平氏も「突然のようだが、

私はかねがね北国の人間が口が重いというのは偏見だと思つている。あれは外部の、自分たちよりなめらかに口が回る人種の前でいつとき口が重くなるだけのことで、内輪同士ではそんなことはない。」(「転機の作物」と書いています。

庄内弁で話し、癒し、皆様の健康と長寿の有り難さを確かめ合いたいと考え、「ITだけでは やじやがね 会つて話そ！」とテーマを決めました。

また、毎年参加して私自身気になることは話しやすい同級生、同じ中学、小学校の昔馴染みとの交流に留まりがちなことです。そこで今年は次のようなお願いをすることにいたしました。

＜お願い＞

会場での新しい交流のきっかけとなり、何人かで、話題が交わしやすくなるネタづくりに協力して頂きたいのです。これから投函する「出席のはがき」の該当欄に、「趣味、スポーツ、ライフワーク、最近の関心事」などを、短くお書きいただき、会場でのネームプレートに転記させてい

ただければ幸いです。新しい出会いが今回のテーマで生まれますように。
ンだば、テイコクホテルで待つてる酒！



<http://www.tokyokakushou.com>

見てくだへ！

東京鶴翔同窓会ホームページ

思い出がよみがえります。

第34回東京鶴翔同窓会への「出欠」の返事もホームページからできます。

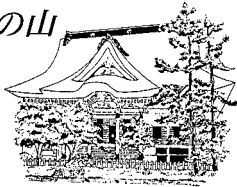
信仰の山 精霊の山 修験の山

月山・羽黒山・湯殿山

出羽三山神社

宮司 緒方久信

〒997-0292 山形県東田川郡羽黒町手向7



●出羽三山神社 社務所 ☎(0235)62-2355/FAX(0235)62-2352
●羽黒山・三神合祭 ☎(0235)62-2356 ●羽黒山参籠所(齋館)☎(0235)62-2357

庄内交通グループ
庄内交通株式会社

代表取締役
社長

本山 彌

鶴岡市錦町2番60号 ☎(0235)22-2600(代)



荘内銀行

ホームページアドレス <http://www.shonai.co.jp/>

いつも主役は庄内と庄内人！

荘内日報

本社／山形県鶴岡市馬場町8-29 ☎0235(22)1480(代)
酒田支社／山形県酒田市二番町6-2 ☎0234(22)4244(代)
山形支局 ☎023(622)4519 東京支局 ☎047(341)4872

山形の暮らし
まるごと応援サイトも
ぜひご覧ください。
-yamagata.com

「E-1」対策どじろじや ありません



鶴岡市長
富塚 陽一
(57回卒)

東京鶴翔同窓会の皆さんこんにちは。今年もこの好季節に総会を開催されること、まことにおめでとございます。

さて今年、鶴岡市制施行八十周年記念の年に当たります。とくに来年には周辺町村と合併をする可能性があり、現在の行政区画による鶴岡市は、今年度限りになるかも知れません。そこで、この市町村合併の話から始めましょう。

まず、なぜ市町村合併かですが、とくに地方の市町村が直面している難題を克服するため、合併措置が最も有効な方策だと考えられるからです。直面している問題の第一は、少子高齢化とそれに伴う人口減少、また人々が求める公共的サービスの増大と内容の多様化・高度化が進むのに対して、とくに小規模町村ほど、これらに耐える行政能力が乏しいこと。第二は、市町村の財政収入、とくに小規模町村ほど、財政収入の縮小が余儀なくされ、行政サービスの提供が著しく制約されること。第三に、国や県の業務を市町村に移譲するのに、小規模町村ほどその受け皿

になる能力が乏しい、と言った三つのことが挙げられます。そこで、市町村合併により、市町村長等特別職、議会議員、総務管理部門を削減・合理化し、半面、サービス部門能力を結集して住民サービスの充実を促進し、機能の強化を図ろうというわけです。

今のところ、余目、立川を除く東西田川郡内の町村と協議中で、今年の六月から九月前後に合併の如何を決定し、仮に合併する場合は、引き続き「鶴岡市」の名称を掲げるよう関係町村と調整し、今年度末に合併することを目標に準備を進める考えです。実際は周辺町村が果たして合併を望むかは未定です。合併するには沢山の厄介な難問をクリアする必要がありますが、産業の停滞、財政事情の逼迫を凌ぎながら未来の発展に備えるため、必要な命題にはしっかりと対応したいと思っております。会員各位には一層のご理解とご支援を賜りたくお願い致します。

一方、鶴岡の産業や雇用情勢が厳しい中で、注目して戴ける話題が幾つかあります。一つは、旧市営球場

跡に開設した慶応義塾・先端生命科学研究所が、糖尿病などの難病を細胞レベルで治療する処方方、世界で初めてコンピュータを駆使して開発するなど、世界の注目を浴びる業績を挙げ続けていること。また山大学部の研究機能も着実に拡充されてきたこと。第二には、鶴岡にある山形NECが、国内での最先端とも言われる半導体の生産を急ピッチで進めようとしていること。そして第三には、鶴岡・庄内を舞台にした映画「たそがれ清兵衛」が国内の数々の大賞を得た上、アメリカのアカデミー賞候補にもなったことなどがありました。何がそうさせたのか、なおよく考えて見たいと思っております。鶴岡の諸々の自然性、文化性、風土性が、新時代の求めに極めて合致することを示唆している気がしますが如何でしょうか。

最後に、皆様のご多幸、ご健勝、ご活躍をお祈り申し上げます。



手打ち蕎麦
炭火焼料理

大松屋

大松屋 本店 TEL.03(3571)7053
大松屋 蔵 TEL.03(3574)4200
大松屋 榎 TEL.03(3571)8588
酒田生石 大松屋 TEL.0234(94)2617

上野精養軒

グ リ ル
カ フ ェ ラ ン
ラ ン ド ー レ

ご 婚 礼 披 露 宴 会
ご 宴 会 料 理
出 超 お

www.seiyoken.co.jp

上野公園4-58
☎3821-2181(代表)

世界から良いものを
スーパーマーケット

SGS
シネテックグループ

(株)主婦の店鶴岡店

取締役社長 大川 一郎 (59回卒)

本部・鶴岡市美咲町37-17 TEL.0235 (22) 2683
婦省の際のお買物は地元のスーパーマーケット主婦の店でぜひどうぞ。

医療法人石原小児科医院

石 原 融

〒997-0032 山形県鶴岡市上畑町3-23
TEL:0235-24-8213
FAX:0235-25-6083

「山河遙かなり、
故郷は遠くにありて想つもの」
こばえちゃ、こばえちゃ




和田 晶
(56回卒)

遙かなる山河 庄内人にとっては
なんと懐かしい言葉だろう。もう九
年も前だろうが、鶴岡公園から見た
「月山」そして桜満開の赤川から見た
「月山」の美しさ。その時、今度
何時、仰ぎ見れるかな、これがラス
トの見納めかなど、想いがよぎる
のであった。少年時代、僕は秋にな
ると、和田家の玄閣ルートにあった
甘柿の木に毎日のように登り、(柿
の木は折れやすく危ないと云われて
おり、その下に井戸迄あった)柿の
木の上から、月山を眺めながら一人
悦に入り、甘柿をむさぼり食った。
そう内側からの金峰山、母狩、そし
て月山という眺めも最高、芭蕉も見
た風景だし、昭和十一年六月、我が
父、光利を尋ねて現れた、俳人・山
頭火も見た風景である。そして反対
側、川下をみれば鳥海山が見える。
母の生まれは鳥海山を仰ぎ見る本厩
(出羽の柵跡)現在は酒田市、盆暮
には母と行ったが、鳥海山も美しい。
私の小、中、高と親友の今は亡き佐
藤薫氏も鳥海の高山植物に夢中に。
東京芸大時代、夏休み飛鳥から見る
鳥海山も絶景。それから更に月山山

頂に、誰かを連れて登った。その想
い出も永遠の一瞬であったが。青春
二度と還らず。又浪人時代、鶴岡芸
術志向の仲間と、関西からきた女の
子一人加入、朝日村の溪流を遡り「幻
の滝太郎魚」のいる筈の「大鳥湖」
に行った想い出も忘れられない。後
年、都立秋川高山岳部を率いて、山
形側から朝日連峰を縦走し、大鳥湖
に降り鶴岡にという旅も今となって
は奇跡の旅に近い。又、ちなみに朝
日村村長は祖母の妹の旦那様であっ
た。祖母は東京湯島の生まれ(庄内
藩・江戸詰の末裔)そして父にお前
の故郷を見せてやると、仙台からは
鶴岡迄人力車か、そして従弟と結婚
させられた。その頃、現在の鶴岡南
高校敷地の内、三千坪位は和田家だ
であった。祖母の弟や一族の中の三人
は、東京美術学校の出身者。だから
上野は私にとっては一つの故郷。我
等が鶴中の大先輩、日本美術史の大
先生田中一松先生は国立博物館ルー
トでよくお逢いしご馳走になり貴重
な想い出。子供の頃の想い出、私は
四、五歳位が、両親と温海温泉、温
海岳に登ったその時、山奥の滝壺で

見たキラキラ青く光る沢蟹の甲羅、
子供にとって巨大に見えた。芸大受
験の頃、湯河原の安井先生(日本を
代表する洋画家・芸大教授)を尋ね
その後山路に迷い込み、その小道で
見た沢蟹の青い甲羅にびっくり。そ
う云えば鶴岡の冬の思い出、冬の夜
外に出る、道は凍り付いて遠くの街
を歩いている人の下駄の音がカラッ
コロンと響いてくるのであった。「た
そがれ清兵衛」今、家の仏壇には藤
沢周平さんと我が父、それに新山温
泉ご主人と三人で写された大きな写
真を飾つてある。庄内は正に「文人
墨客」の地である。



いつも もっと おいしい日本酒へと
SINCE 1778

栄光富士
富士酒造株式会社
〒997-1124 山形県鶴岡市大山3-32-48
TEL 0235-33-3200 FAX 0235-33-0477
E-mail: fuji3200@eos.ocn.ne.jp

山形県 湯野浜温泉

愉海亭 みやじま
〒997-1201 山形県鶴岡市湯野浜1丁目6番4号
http://www.dewazi.or.jp/hotel-miyajima
TEL(0235)75-2311 FAX(0235)76-3055

手造りの味
つけもの処 **本長**

〒997-1124
山形県鶴岡市大山1-7-7
☎フリーダイヤル 0120-330-878
FAX 0235-33-0878
http://www.k-honcho.co.jp


鶴岡印刷株式会社 Imagination & Communication.
TSURUOKA PRINTING Co.,Ltd.
■本社 〒997-0854 山形県鶴岡市大字大淀川字洞合1番地1
PHONE.0235-22-3080 FAX.0235-24-8698
E-mail:desk@turuin.co.jp

ITばっかりダバ、 やじゃがネ



門 脇 厚 司

(66回卒)

今からほぼ四年半ほど前になりましたが、岩波新書の一冊として『子ども
の社会力』という小書を出しまし
た。「社会力」という新しい言葉を
造語し、「今、わが国の子どもたちは
どんどん社会力を衰弱させている」
ことをきつちり書いた内容の本です。

ここでいう社会力とは、人と人が
つながり社会を作る力のことであり、
よりましな社会を創るうという意欲
であり、想像力であり、実行力のこ
とですが、「そのおおもとである他者

への関心や、愛着や、信頼感が、い
ま、どんどん失われていきますよ。そ
んなことではわが国の活力は無くな
っていくし、現にそうなっているで
はありませんか。これじゃ、社会の
将来は危ないよ！」と世に警告を発
したわけです。

以来、ありがたいというべきか、
切ないというべきか、悲しいという
べきか、この本が読まれ続けていま
す。そして、「社会力を無くしてい
るのは何も子どもだけじゃない。子ど
もの親だって、学校の先生だって、
会社の若い社員だって、地域の大人
だって、相当に社会力を衰弱させて

いる！」という声が出ることにな
り、朝日選書の『学校の社会力』と
『親と子の社会力』を含め、今では
「社会力」をタイトルに入れた本が
合計六冊になっていきます。わずか四
年ほどの間に、こういうことになる
というのは、わが国の子どもや、親
や、教師や、大人が、人間として憂
えるべき事態に立ち至っているとい
う認識が人々の間に広がっているこ
との証拠でもあります。

社会力の衰弱と反比例するように
広がっているのがインターネットと
かケータイなど、いわゆるIT機器
の日常生活への浸透であり活用です。
「インターネットに深入りしてい
くと、生身の人間とかかわらなくて
よくなってくるし、かわるのがだ
んだんイヤになってくる」とはつき
り言う学生は少なくありません。そ
う実感している人間の増加が「引き
こもり」「百万人」「フリーター」四百
万人、という数字になっているのだ
ともいえます。「人間は人間の中でし
か人間になれない！」世界各地に見
られる多くの野生児の例がこのこと
を証明しています。ヒト種の動物だ

からといって、IT機器との付き合い
いだけでまっとうな人間になれるわ
けはないのです。大いに集い、一緒
に飲み食いし、語らい、そして、互
いにもちつもたれつしながら生きて
いくのが人間のまっとうな姿です。
そのように生きていることが楽しい
と思えることこそ人間として正常で
あることの証しです。鶴翔会に集う
私たち老若男女は、これからも、未
永く、そんなまっとうな人間であり
続けたいものです。今度の総会もそ
んな楽しい会になることを願って
います。



どうか皆で見てくだへ!

東京鶴翔同窓会

ホームページ

<http://www.tokyokakushou.com>

『母校・郷土・友』
の
情報満載です。

第34回東京鶴翔同窓会への「出欠」の返事も
ホームページからできます。

編集から出版までのトータルプランナー

 株式会社 **日本商業宣伝社**

日本総合出版(株)

佐藤 成生 (59期)

〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町567番地

TEL 03(5287)5885 FAX 03(5287)5632

株式会社 遠藤会計事務所

代表取締役所長

税理士 **遠藤 研一** (76回卒)

事務所 〒997-0042 山形県鶴岡市新形町21番20号

電話 0235-22-2884(代表)

FAX 0235-24-3846

内科 胃腸科 小児科

佐藤 医 院

院長 佐藤 一夫 (昭和40年)

〒134-0083 東京都江戸川区中葛西1-4-16

TEL 03-3688-7460 FAX 03-3688-7419



あなたともちとフェイスtoフェイス

 **Face to Face**

© YOSHITHARU TSUCHIDA

 **鶴岡信用金庫**

庄内弁にこだわった作家 藤沢周平



松田 静子 (66回卒)

山田洋次監督の映画「たそがれ清兵衛」は大ヒットしたが、庄内弁が用いられたことも話題の一つだった。清兵衛役の真田広之やその恋人役の宮沢りえ等が「...でがんす」「...ですのオ」と喋るのを聞き、懐かしい思いに誘われた人が多かったことだろう。地元庄内でもあまり耳にしなくなった優雅な庄内弁がそこにはあった。年配の方でも、こういう丁寧な物言いをする人、つまり古い武家ことばや城下町の町衆ことばを使う人が少なくない。そのため、この映画で使われた庄内弁を耳にして郷愁を誘われたのである。

『秘太刀馬の骨』は平成四(1992)年に発表された長編である。この頃藤沢さんは大作の『漆の実のみの国』(米沢の上杉鷹山を描いた史伝小説)に取り組んでいたことや体調が思わしくないことなどから、執筆を控えながらだったので、『秘太刀馬の骨』は海坂藩最後の長編になった。この作品には庄内弁が生き生きと描かれている。例えば、「ほかはみなさん、休みでがんすの?」「いや、おれは晩方から登城して、宿直の指図さねまね」「それはご大儀だの」という具合に出て来る。「...ださげ」とか、「お師匠はん」など庄内弁特有の用法もふんだんに出て来て楽しい。映画「たそがれ清兵衛」はこのような庄内弁を再現したものである。一方「春秋山伏記」の方は庄内の農村ことばが出て来る。今では死語になりつつある「ダダ」「ウマ」「アネ」といったことばが郷愁をそそる。特に農村育ちだった藤沢さんにとっては、こういう言葉を書くことには意味があったに違いない。故郷

に帰るたびに変貌する農村風景に驚き、せめて言葉くらいは変わらないでほしいという思いを持っていた。「みじよけね」「やばち」「じよさね」(そうさない。簡単だ)などは高校生くらいの子供たちにもわからないようになっていた。

藤沢さんの庄内弁へのこだわりは、単なる郷愁ではなかった。バブル期その崩壊期、厳しいリストラ時代を見ながら、変貌する農村の姿こそ日本という国の崩壊の象徴であると感じた。しかし、それを声高に言うのではなく、時代小説の中で大切なこと、守ってゆくべきことを静かに語っている。遺作となった『漆の実のみの国』を読むとそのメッセージがよく伝わってきて、悲痛な思いに駆られてならない。



TURKEN 創造新時代



鶴岡建設株式会社

代表取締役社長 本間敏英 (69回卒)

本社 山形県鶴岡市泉町5番41号 〒997-0033
Tel: 0235-22-4511(代) Fax: 0235-24-3240

K 香取物産株式会社

代表取締役 上野 識 (52回)

東京都千代田区神田鍛冶町3-4-2
TEL: 03-3256-9581 (代)
FAX: 03-3258-1430, 1440
E-mail: s.ueno@katori.co.jp
海外事務所: 香港、上海、深圳

孟宗と梅林の里 湯田川温泉

日観連 たみや旅館

代表取締役社長 今野悦郎 (66回)
常務取締役 今野睦子 (71回旧姓 沢井)
〒997-0752 鶴岡市大字湯田川乙15 TEL(0235)35-3111(代)
FAX(0235)35-3116

かけがえない水 英知と技術でリサイクル

東北環境開発株式会社

取締役社長 木村有為
専務取締役 泉川智子
本社 鶴岡市字下清水字打越2-1 ☎(0235)24-3110(代)

こんな肩書の暮し



上野 正勝
(66回卒)

定年退職してから三年が過ぎる。肩書のない悠々自適の毎日といつてもいい。現在の私の名刺は、表に「中央大学法学部（通教）学生」、裏に「菜園づくり（百坪）、ジョギング、スキー」と趣味が書かれている。以前、私は母校の数学教師として十五年、教頭職として三年母校に勤務した経験がある。教頭職当時、二度、東京鶴翔会総会に招かれ、その席で母校の近況報告をさせていただいた事がある。

私の名刺の「菜園づくり」は、退職してから本格化したものである。十数種類の作物を育てるものである。昨年、偶然一個の重さが三・五キログラム（写真）のサツマイモを収穫した。サツマイモは肥料も食わず簡単に収穫できる作物の代表のような作物である。農園は自宅近くの百坪余りの宅地に水道をひいたものである。一日に二度は野菜の成長を見に行く。無農薬野菜は貴重である。名刺の表書「中央大学法学部（通教）学生」を書くようになった動機は二つある。一つは浮世絵師である歌川豊国著『96歳の大学生』を読んで共

感したからである。96歳で法学部学生として「生涯青春」に挑戦していることを知ったからである。二つ目の動機の比重は大きい。私は定年退職する少し前、県教育機関誌に「気になる少年の罪と罰」と題して投稿した記事が気になったからである。投稿した記事の概略は「五年後の見直しを条件に少年犯罪の刑事罰適用



を十四歳以上に年齢を引き下げることになった。その厳罰化の理由を、少年に犯罪の責任を強く自覚させ自省を求めためだと説明されている

が、刑罰は倫理・道徳観念や社会規範を媒介することなしに有効には機能しえないのではないか。犯罪少年に改正少年法を適用させることよりも、教育や社会政策の面から犯罪防止の効果策を考える方が犯罪の防止の効果は大きいであろう。少年非行の原因や背景となる事実を確認していくことが重要である。少年非行は社会を映し出す鏡とも言われているからだ。刑罰は強い薬品にみられるような副作用もあり、改正少年法の適用は慎重でなければならぬ」と言った内容である。法も知らない法学の門外漢の暴言ではないかと、後になって反省をした。反省の結果、法を学ぶことを志し、中央大学法学部三年編入の身分で、中大多摩キャンパスや地方スクーリングにも出掛け三年が過ぎる。卒業も遠くはないが、以前投稿した記事を読み直し、検証し結論を出す時期がきたのかも知れないが先送りすることになった。法律を学ぶことの喜びは、自らの毎日を充実させることに結びついた。法律を学び始めた頃には、全く予期せぬ望外の収穫があった。菜園でも法律からも収穫したことになる。



株式会社 **ホンマ電機**

代表取締役 **本間 俊三**

〒228-0802 相模原市上鶴間1-12-1 TEL042-746-1616(代)
昭和38年 鶴工卒 中央大学(理) 温海出身
URL <http://www.ホンマ電機.com>

水門・橋梁・鉄管・除塵機・クレーン

株式会社 **興和製作所**

鶴岡市大字下清水字内田元72-43
TEL0235(29)7511(代)
FAX0235(29)7521

寒河江法律事務所

弁護士 寒河江 孝 允 (昭和38年)

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-7-2 TEL (03) 3502-0882
UBEビル5階(首相官邸南) FAX (03) 3502-0880

胃腸科・外科・眼科・放射線科

かぶ き **冠 木 医 院**

院長 冠木徹彦 副院長 冠木敦子 (68回卒)

〒360-0815 埼玉県熊谷市本石1-128(一番街)

☎ 048-521-1106

「ケータイを持った新人」 教育



粕谷 英樹
(66回卒)

我が国の「ケータイ（携帯電話）」が八千万台を超えました。電話・メールはもとより、政治・経済・社会やスポーツ・生活・エンターテインメント情報などの取得に加えて、懸賞株式投資、ゲーム、ショッピングなど利用者参加型の機能を備えています。最近では、カメラやTV機能も加え、新しい情報ケータイ端末へと進化しています。

猿学者である正高信男氏の「ケータイを持ったサル」（中公新書）が話題になっています。子供中心主義の家庭で育った子供たちは、心理社会的に未成熟なまま大人になり、対人関係が危うく、コミュニケーション能力に欠け、ひたすらケータイに頼って、ごく限られた仲間との間に家庭的なつながりを求め、そのなかに身を置く。それは、生まれてから死ぬまで家族社会の中で生活するサルに通じるというものです。ルーズソックスや電車内での化粧など、六十歳代の我々にとって理解に苦しむような光景もサル化現象、つまり自立した個を基本にした社会とは一線を画し、家族的社会を空間的に拡大し

た結果であるといえます。この春で大学教員生活三十七年目を迎えますが、「ケータイを持ったサル」が増えていることを実感しています。高等学校まで、受験勉強が隠れ蓐になり、心理社会的成長を促す教育を軽視することによって、多様な人間とのつきあいを回避し、曖昧さや不安への耐性がなく、言語コミュニケーションが貧困な若者が育っています。成績がよいということだけで、心理社会的未発達の問題を正当化する風潮も影響しています。昔は、良し悪しはともかく、若いときに家族的生活空間から社会へ飛び出さなければならぬ社会状況がありました。今は、少子化やITの進歩によって、若者がいつまでも家族的な世界に住み続けることを許す環境になっています。ITの進歩は、社会活動の拡大に大きな貢献をしている一方で、若者の家族的社会的空間的拡大も促し、そこで生きる者に一時の充足感を与えていることも事実です。我が国特有の家族的社会のもつ歪みを、阿部勤也氏（ドイツ中世史家、前一橋大学学長）は、「世間論」として考

察し、警告しています。（「世間」とはなにか、講談社現代新書。このような歪みを是正する妙薬はないかもしれませんが、初等中等教育で、多様な価値観をもつた他者（社会）とのコミュニケーション能力を育成する、いろいろ仕掛けを準備し、実践しなければなりません。

人間同士の対面コミュニケーションでは、書き言葉で表すことができず、言語情報だけでなく、発話者の態度・意図・感情などの情報（パラ言語情報）、性別・年齢・健康状態などの情報（非言語情報）が、話し手の言葉、目・手・身体の動き、匂い、環境（場面）などを総動員して伝えられます。ITでは対面コミュニケーションで取り交わされる情報のごく一部しか利用できません。若者の均衡のとれた「知意コミュニケーション能力」を育成するには、早い時期からの対面コミュニケーションの実践教育が必要です。

サルから猿人を経て新人に進化するまでに四百万年もかかったといわれています。若者がサルに退化することをくい止めることは、教育界だけでなく、社会全体の重い課題になっています。



東京尾浦会

（創立20周年を）
（迎えました。）

尾浦とは400年前、庄内に酒井氏が入部する以前に君臨していた武藤氏の「尾浦城」にちなんだ大山の旧称です。

会長・加藤 眞
事務局・東京都板橋区小茂根1-1-6-303 田中武次郎方
〒173-0037 TEL&FAX 03(3972)3705

加藤法律事務所

弁護士 加藤 次郎 (62回)

〒105-0004 東京都港区新橋2丁目20番15号
新橋駅前ビル1号館6階604号室
TEL 03 (5537) 5501~5502
FAX 03 (5537) 5503

あいたい！ふるさとへの近道

鶴岡江戸屋敷

鶴岡市東京事務所

〒134-0088 江戸川区西葛西7-28-7

TEL 03-5696-6821

FAX 03-5696-6822

E-mail:tokyo@city.tsuruoka.yamagata.jp



酒造資料館あります

映画上映・試飲コーナーなど

酒王初孫

東北純醸株式会社

酒田市大字十里塚字村東山125番地の3
TEL 0234(31)1515 FAX 0234(31)5588
URL <http://hatsumago.co.jp>

庄内弁を想う



工藤 ゆき子

(67回卒)

大学に行くので上京し、そのまま住み着いてしまったので、鶴岡で過ごした時の2倍以上も長くこちらで暮らしている。だから日々の生活の中で、庄内弁を使うことは、全くといっていい程ないし、又それを聞く機会も少ない。

今年の鶴翔会総会のテーマは、「IT だけでは、やじやがね。会って話そ！」ということ、久しく忘れていた「やじやがね」がにわかにな言葉として伝わってきた。自分では、余り使ったことがないように思うが、妙に語感がなつかしい。「やじやがね」「やじやがね」と声を出して口ずさんでみたら、昔の思い出が、どつと頭によみがえってきた。どの場面でも、誰かが「やじやがね」とか「やじやがねでは」とか言っている。「やじやがね」という独特な方言を、私は単に言葉としてではなく、それにまつわる人々や場面や出来事までも含めて、くつきりと頭の中に記憶しているのだ。方言の持つ力に改めて感心させられた。

田弁で書かれた「八郎」や「モチモチの木」が載っていた。東北弁の用語が教科書にメジャーデビューしているのは、これしか頭に浮かんでこない。

庄内出身の私は、我が意を得たりと張り切って取り組んでみたが、どうもピンとこない。内容とかテーマとかではない。方言に関してである。活字にされた秋田弁を東京っ子が朗読すると、もういただけない。東京式秋田弁。テレビや舞台役者の言い回しと同じでもどかしい。服の上からかゆいところを掻くような。しかし無理もない。私が庄内弁を話そうとすると、まず声の出し方から変えなくてはならない。喉を少し細めて力を抜き、あごを極度に動かさずに、鼻濁音をふんだんに使って、やわらかくくぐもった発音をする。歯切れのよい発音を旨とする東京っ子には、東北弁を味わわせるなんて所詮無理だし、意味も薄い。「方言もどき」方言こそが、東京っ子にとつての真の方言なのだ実感した。

幸い私は、丸ごとすっぽり庄内弁の中で育ってきた。だから東北弁や

庄内弁の持つ独特の響きは、どんなに歳月を隔てても体の一部のように我がものとして即座に蘇ってくる。「しゃーしゃー弁」とも言われる庄内弁を改めて思い起こすと、何と穏やかで温か味のある響きを持った言葉だろ。きっぱりと言いつける激しさを避けるように「やじやがねでは」「んだなだっけ」「困つてしゃー」のように、沢山の接尾語を取り入れている。

それは取りも直さず、庄内の人々の築いてきた文化であり、温かい人情と切り離しては考えられないものと常々思っている。

庄内弁とITは相性が良くない。今、私の心のうちに、庄内弁で語り合つぬくもりにひたりたいという、あこがれにも似た気持ちがふつふつと湧いてきている。



山・川・ふるさと

潮香漂う"白砂青松コース"で"ピュアなもの"を持って、イキなプレーで「ゆとりと感動」の実感を

湯の浜カントリークラブ
TEL0235-75-2044 FAX0235-75-3012

本間ぶんゆうの会

〒959-3907 新潟県岩船郡山北町大字府屋
電話 0254-77-3822

牧 眼 科 医 院

医学博士 牧 幸(旧姓石黒・第73回卒)

〒225-0011 横浜市青葉区あざみ野2-9-1
あざみ野駅前第2ビル
電話・FAX 045(902)5155

株式会社 アイピーエス

代表取締役 小 花 吉 彦 (64回卒)

〒151-0064 東京都渋谷区上原3-25-9
TEL 03-3469-8211 FAX 03-3469-6361
E-mail : kohana@ips21.com

第33回東京鶴翔同窓会 を振り返って



第33回東京鶴翔同窓会実行委員長
岡部 次樹
(75回卒)

二〇〇三年六月七日、日本海運倶楽部二階大広間にて、来賓者、招待者を含め総勢約一三〇名が集まった第33回東京鶴翔同窓会から早いもので十ヶ月が経過しました。何もわからないまま実行委員長を引き受け、頑張った八ヶ月間、お蔭様で同窓会も盛会だったし、何よりも嬉しかったのは東京鶴翔同窓会のタスキを無事第34回の実行委員に引き継ぎ、自分たちの役目を全うさせることが出来たということでした。八ヶ月間が私にとつては大変有意義であり、また素晴らしい時間の経過だったことを何かにつけ今は懐かしく思い出されます。

十月の引継ぎ時点で32回目の実行委員及び事務局の方々に会の進め方等いろいろアドバイスをいただき33回目の同窓会実行委員会がスタートしました。

同窓会を盛り上げていくためにはまず今回のテーマを早く決める事、そしてやらなければならないことが三つありました。

一つはインパクトのある会報の作成、二つ目は協賛の広告をいかに多

く集めるか、そして三つ目は当日の総会をいかに仕切っていくかです。我々はこの三つを分担してそれぞれの年代が責任を持って当たる事にしました。一つ目の会報の作成は若い世代が責任を持って85回生が担当し、二つ目の広告集めは年の功もあり、また10年前実行委員長も経験している加藤さんを中心にした65回生が担当し、そして三つ目の当日の総会を我々75回生が担当しました。

実行委員のメンバーも十月にスタートした時は10人にも満たなかったが会を重ねることに仲間が増え、最終的には30人以上にも増える結果となりました。十一月の2回目の実行委員会で行った今回のテーマ「愛燦燦母校、郷土、友」と決まりました。そして十二月の3回目には会報に原稿を載せていただく方の人選を決めそれぞれの年代が責任をもって依頼を付けていきました。取りまとめは85回生が担当し、年明け一月には広告による収入一六〇万を以て当日同窓会への出席人員を二〇〇名と具体的な数字を挙げ目標としました。二月、三月と定期的に会合をもち、広告の集

まり具合の確認や会報の詳細を固めていきました。三月二十八日、会報の印刷を担当していただいた59回卒業の佐藤さんの事務所に85回生が中心で集まり夜遅くまで最終編集チェックを行い会報はほぼ形となりました。四月の会議にはイベントに参加要請をしていた同期の村井君を鶴岡より上京してもらい総会会場にて打ち合わせを行いました。このあたりから同窓会に一人でも多くの参加者を集めようという意識が芽生え、実行委員の盛り上がりも手ごたえを感じてきました。総会を一週間後に控えた五月三十一日に最後の実行委員会を開き最終確認も行い六月七日を迎えました。一人の力では出来ないことでも多くの力が結集すればこんなに素晴らしい会が出来ることを改めて感じました。

最後になりましたが今回同窓会を開催するに当たってご出席いただいた来賓の皆様、数多く参加していただいた皆様の皆様、また裏方でサポートしていただいた事務局の方々、そして脱落することなく走ってきた実行委員の方々にあらためて感謝の気持ちをお伝え申し上げたいと思います。本当に有難うございました。



映像は一人の歴史を刻み
写っている人皆んなが証になります

写真 確かな技術、
プロが作ります

斎藤写真店 (62回卒)
斎藤 永吉
東京・稲城市 TEL&FAX042-377-8822



100% 日本酒
〒997-1124 加藤嘉八郎酒造株式会社
山形県鶴岡市大山三丁目1-38 TEL 0235 (33) 2008

朝明けは紫に映え、夕日には黄金に輝き、そのすそを日本海にひたす出羽富士鳥海山を想い起して!!

湯野浜温泉

竹屋ホテル

佐藤 擴 (47回卒)

〒997-1201 鶴岡市湯野浜 1-9-25

TEL 0235(75)2031 FAX 0235(75)2040

会って話そー！



椎名 和子

(70回卒)

私は双葉町育ちである。「双葉町？それが何なんですか？」と言つのはIT世代、「双葉町！」と鋭く反応するのはNot・IT世代の人達と言つていいかもしれない。

『双葉町』は昭和三十一年に『売春防止法』が公布されるまで、遊郭の町だった。入り口に幅半間、高さ一間半程のコンクリート製の『大門』があり、通りの右側に松形屋・松江楼、その先を右に曲がると左側に若葉楼・矢鳥屋、きのえね楼があった。大門の左側には花山楼・小柳・いろは・若木屋と並んでいて、その先は内川で行き止まり。いろはと若木屋の間には広い通りがあり、みことな桜並木になっていた。そして若木屋の後に小松屋。小松屋が一番格式のある遊郭だったらしい。なにしろ双葉町の氏神様として遙か千葉県から宗五郎神社を勧請して来ているし、博労もしていた。小松屋の裏には馬小屋があり、馬に水浴びをさせるための道が内川の水面まで続いていた記憶がある。又、私の家から神社までの間には『治療院』と呼んでいた遊郭で働くお姉さん達（BG）のた

めの病院があった。家の前にはBGを引退した人の家があったし、夕方に早めに近所の風呂屋に行くと、よく子供の私の頭を洗ってくれる優しいBGもいた。幼馴染が遊郭の娘だったので、日中、広い廊下でゴム段をしたり、怪しげな裏二階で遊んだりもした。彼女が「ばばはん」と呼んでいた年寄りは何人かいたが、あれは行き先のないOBだったのだから。いったい昭和三十年当時、『双葉町』には何人ぐらいのBGが働いていたのだろう。『双葉町ツアー』体験者の方、『双葉町』関係者の方、懐かしいあの頃のことを、会って話そー！

生まれ育った『双葉町』とは全く違つ世界を知つたのは高校一年の夏、昭和三十六年のことである。赤谷先生に連れられて、鼠ヶ関で行われた保健委員会のキャンブに参加した。当時北大の学生だった鈴木喬さん始め、六十六回卒の先輩達も来て、オーディオンに合わせて新しい歌を教えてもらったり、キャンブファイアーの周りでフォークソングを踊ったり、先輩達の難しい議論を聞いた

り。天気が悪く、海も荒れて、「医者も坊主もいるから、安心して溺れて来い。」などと言われたが、本当に楽しかった。カルチャーショックを受けた。そして何より先輩達の使う都会言葉が眩しかった。赤谷先生や原先生のお世話になつた方、保健委員だった方、楽しかったあのころのことを会って話そー！

一度は都会言葉に憧れ鶴岡を離れたものの、庄内弁捨てがたく、昭和四十二年に新米国語教師として鶴岡高に戻つた。周囲は恩師ばかり。なかでも高校三年間担任だった菅原七郎先生には、在職四年間心配かけどおしだった。何も知らないくせに、自分が何も知らないと言つことさえ気がついていない私に、どんなにハラハラなさつたことか。又、ずぶの素人だった私の『授業』を聞いてくれた、当時の二年六組（池野先生）と七組（高橋先生）の生徒だった七六回卒の皆さんには、どんなにメイワクをかけたことか。怖いもの知らずでピチピチして若かつた土門センセイについて、会って話そー！



笹原事務所

社会保険労務士 笹原 恒弥 (58回)

〒132-0024 東京都江戸川区一之江6-5-8
TEL 03-3654-6617
FAX 03-3656-8667

個性あふれる暮らしを彩る、
「ベルハイム」分譲マンションシリーズ



三和ハウス株式会社

代表取締役 佐藤 隆 (65回卒)
〒167-0042 東京都杉並区西荻北4丁目8番2号
TEL.03(3301)3301(代) FAX.03(3301)3304
(社)日本住宅建設産業協会会員 都知事(12)第12978号
<http://www.sanwa-house.co.jp/>

「仕訳の実際555例」(実業之日本社)13改訂版

公認会計士 榎本 堯 (63回)
税 理 士

〒180-0022 東京都武蔵野市境5-7-2-102
TEL 0422(52)2253 FAX0422(56)0730
<http://www.enomoto-cpa.musashino.tokyo.jp>

東京羽黒会

出羽三山の里 羽黒町出身の首都圏在住者の古里の会です
今年34回の総会を7月4日(日)日暮里のホテルラングウッドで
開催します 皆様お誘いのうえお出掛け下さい お待ち申し上げます

会長 山本四郎 役員一同

〒101-0032 千代田区岩本町1-7-1 瀬木診療所TEL03-3866-7313
E-mail yama46@kojima.net
y.y.s.a.y@docomo.ne.jp

IT犯罪についての

雑感



太田 司郎

(70回卒)

都内の犯罪発生が最悪の状態にあり、警視庁では平成十五年を治安回復元年と定め三年間で十年前の治安に戻すべく対策を推進しています。

一方ITに関するいわゆるハイテク犯罪は全体に占める割合は低いものの、年々増加しその取締りに苦慮しています。

私の勤務している東京水上警察署での二例をあげます。携帯電話機からインターネットに接続し不特定多数の男女交際の切っ掛けとなる出会い系サイトを利用し、未成年女性(16歳)三名に各三万円を与えて買春する男性、また大韓民国の58団体のホームページ「イラク戦争への反戦メッセージ」とブラジル国旗様の画像」を改ざんしたとして、大韓民国警察からメールアドレスを手がかりに犯人は日本在住である旨連絡があり、「国際ハッカーによるホームページ改ざん事件共同捜査本部」を設けて17歳のブラジル人を逮捕しました。

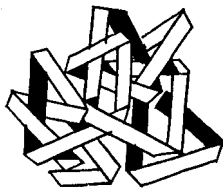
ハイテク犯罪のほとんどはネットワーク利用で、詐欺、脅迫、名誉毀損、恐喝、ワイセツ、あるいは不正アクセス禁止法、児童ポルノ法、銃

刀法、著作権法、商標法等の法律違反が主な検挙例です。またIT関係の相談の受理も多く誹謗、中傷、詐欺、悪質商法、わいせつ情報、権利侵害等が目立っています。

ITはものすごい勢いで進化しておりほとんどは社会生活に便利で有効なものですが、一端犯罪やトラブルに巻き込まれると大変なことになります。「情報を制する者は世界を制する」という言葉がありますが、外交・防衛・経済等ではそれが顕著であると思います。国際的なことから身近な私達の生活まで全てがネット社会に組み込まれつつある中、その便利さを不正アクセスや情報漏えい、ウイルス等さまざまな犯罪や脅威にさらされないように一人ひとり気を付ける必要があります。知らない間に被害者になったり、加害者にされたりすることもあります。自分の身は自分で守る。自己防衛・自己責任が大原則です。

今日三月二十六日の新聞に五十五歳の弁護士がオレオレ詐欺で四十万円の被害にあったと報道されました。まさかと思うことが現実にあります。

大事なことは直接会って顔と声で確認すべきです。IT社会が進むに従い直接から間接へと大きく変わっているような気がします。メール交換をとつても秘匿性や気軽さから不特定多数と情報交換し犯罪に巻き込まれるケースが多くあります。私は携帯電話に入るメールは開きますがメールは送りません。家族等でも必ず直接声で確認するようにしています。それに直接話すことで健康や心理状態を察知できるからです。便利さに頼りすぎると人間が薄くなるような気がします。今回の題目「ITだけではやじやかね。会って話そ」はまさにIT社会に居る我々に「人間社会の原点に帰ろ」と警告しているように思われます。ごちゃごちゃ訳の分からぬことを書き散らし失礼しました。



1人1部屋、各部屋冷暖房完備・インターネット通信可能
部屋代月1万円庄内地方上京学生の寄宿寮として108年。
《入館照会受付中》

財団法人 **庄内館**

館長 菅原良雄 (57回)

〒114-0015 東京都北区中里3-7-7
TEL & FAX 03-3949-2646

山形県 **善寶寺**

鶴岡市大字下川

住職 斎藤信義(昭12卒)

TEL 鶴岡(0235)33-3303(代表)

庄内の歴史と民俗をたずねて—

財団法人 **致道博物館**

〒997-0036 山形県鶴岡市家中新町10-18
TEL 0235-22-1199
<http://www7.ocn.ne.jp/~chido/>
E-mail: chido@axel.ocn.jp

登録銘菓 銘菓

古鏡 マロン

つるおか菓子処  **木村屋**

山形県鶴岡市山王町9番25号 <http://www.kimuraya.co.jp>
TEL 0235(22)4530 FAX 0235(22)4538 E-mail:kimuraya@kimuraya.co.jp

桜んぼの実る頃



佐藤 由紀子
(78回卒)

桜んぼ実る頃は 小鳥達が楽しそ
うに 野に歌うよ… と歌い始まる
この曲は、一番古いシャンソンと認
識されている曲です。フォークソン
グのらしいのですが、パリコミュニ
ンの時代、自由と権利を勝ちとろ
と戦っていた人々の間で歌い継がれ
た曲だったそうです。同じ思いで戦
った仲間が、戦いの中で倒れ、亡く
なり、それでも私はこの平和な時代
に生きている。毎年めぐり来るこの
桜んぼの季節になると、友のことが
思い出されて、悲しい思いと、今生
きている幸せを思わずにはいられな
い。叙情的なメロディーにもかかわ
らず、美しい言葉の奥深くにとつ
もない悲しみが表現されていると、
私には思えるのです。

春の足音が聞こえてくると、私は
なぜかこの曲を歌いたくなります。
桜んぼの季節は六月ごろですから、
春というより初夏の感がないわけ
はありませんが、この曲が醸し出す
雰囲気がそうさせるのかもしれない
ん。
山形と桜んぼが結びつくせいか、
故郷の話になったりすると、この曲

をリクエストされることが多々あり
ます。でも私は子供の頃、桜んぼが
実っている風景に出会った記憶があ
りませんでした。大人になって桜ん
ぼのかれんな花、実がなっている木
を見た時、とても感動しました。そ
してそれが故郷の一シーンになった
のかもしれない。
フランスでも日本でも、たくさん
の歌い手がこの曲を歌っています。
各々が各々の思いで歌っているんだ
と思います。待ちこがれた春がやつ
てきて、でもあの辛いことも思いだ
さなくてはならない。そのくり返し
で時が過ぎていった。私はこの曲を
歌つとき、この曲がもっている背景
に思いをめぐらせませんが、それと同
じくらい故郷への思いもあるなと
思っています。

愛の歌、恋の歌と思われがちなシ
ャンソンですが、こういった曲もた
くさんあります。ここ数年、鶴岡で
二年に一度リサイクルを開いていま
す。今年も七月、パリ祭の頃に予定
していますが、鶴岡のステージで必
ず歌う曲があります。「ラモンターニ
ユ 故郷の山」です。この曲を作っ

ているジャン・フェラは自分の故郷
を軽快なリズムにのせて歌っていま
す。もつとぐらくらい前になるでしょ
うか、青森出身のシャンソン歌手の
方が、この曲を津軽弁で歌ったのを
聞いたことがあります。妙に津軽弁
がこの曲にマッチして、歌い手の情
感がほのぼのと伝わってきて、故郷
つて本当にいいなと実感してしま
いました。私にとつてもそうですが、
故郷賛歌、そのものです。
七月、鶴岡で私は「故郷の山」を
歌います。故郷に帰って、その場に
いる人達と思いを共有したいと思っ
ています。いつもいつも故郷は心を
暖かくしてくれる、そんな風に思っ
ています。
そして、その頃咲き始める花ねむ
に会えるのを楽しみにしています。



医療法人社団

三浦産婦人科医院

医院長 三浦 宏平

〒997-0024 山形県鶴岡市朝陽町4-10
TEL .0235-22-0228 FAX .0235-25-9722
http://www6.ocn.ne.jp/ lcmiura1/

ふるさと・山崎の味

寿山かまぼこ

有限会社 寿山商店

本 社 〒699-0101 鳥根県八束郡出雲町揖屋2510-6
TEL (0852)52-2331(代)
FAX (0852)52-6101

REAL PARTNER

有限会社 カガヤマ不動産

加賀山 隆士(昭和34年)

〒990-0823 山形市下条町2丁目12-24
TEL. 023 (643) 5321(代) FAX. 023 (643) 5298

平成15年東北清酒鑑評会金賞受賞 6年連続 18回目
吟醸酒の部 出品枠2点、純米酒の部 出品枠1点、全3点金賞達成
平成15年全国新酒鑑評会金賞受賞 近年5回目
東北清酒鑑評会2001年 首席獲得 総代拝命

白露垂珠

はくろすいしゅ 醸造元 竹の露(資)

羽黒町大字猪俣新田字田屋前133番地 TEL62-2209 FAX62-3306
E-mail yamagata@takenotsuyu.com URL http://www.takenotsuyu.com
代表社員 金野松弘 (62回卒) 製造責任者 相沢政男 (87回卒)

街の香りと思い出

伊田 寛
(86回卒)

今朝新聞を取りに行ったとき、ふと春の香りを感じた。

何の香りかはつきりしない。でも昔、庄内で毎年かいていたちよっと埃っぽい春の香り。高校時代に陸上部の春合宿で行った吹浦の松林や庄内神社の境内でも嗅いだことがある。庄内に限らず、今までに転勤で住んだ静岡や名古屋での花見の思い出とも重なる香りだ。

そういえば夏も思い出と重なる香りがある。芝や下草を刈った後の臭いだ。こちらでは公園で広場の芝を刈った後の香りだが、庄内では毎日練習をしたグラウンドの香りだった。ろくに勉強もせず、ただ速くなりたくて走っていた無垢な自分が懐かしい。

秋にも秋の香りがある。稲刈り後の藁や籾殻を燃やした煙の香り。今の家の裏にある湿地帯からもその香りがする。余目で生まれ育った私は毎日学校帰りにはその中にいた。この香りをかぐと毎年稲刈りを手伝っていたことを思いだす。今では稲刈りは父の手から兄の手にバトンタッチされた。

残念ながら冬のにおいは記憶にな

い。強いていえば庄内なら吹雪の臭いか？ 吹雪にはにおいがなかったが、顔に当たる痛さやそれでしか経験できない真っ白な視界が今でも思い出される。そんな中を自転車よく通ったものだ。今吹雪だったらすぐに「これで会社が休める」と思ってしまうだろう。

家の中の臭いは実家を出て結婚したり、実家にお嫁さんが来たたりすると、今住んでいる家でも、実家でも昔を思い出す臭いはない。せめて昔住んでいた家でも残っていたら記憶が蘇るだろうが、残念ながらその家も建て替えてしまった。ヨーロッパでは古い物に価値があり家も内装を変えながら何百年も使うというのに、地震を恨むべきか、新しいもの好きの日本人気質を恨むべきか。

私の場合には平地の水田地帯で育ったので周りを包み込む田圃からの香りと季節の思いが深くつながっている。海岸近くで育った人は海の香りや春に吹く東からの季節風で運ばれる香りが記憶に残っているのだろう。どちらにしても庄内には街全体を包み込む季節特有の香りがあった。

私は今、菓子の新商品開発の仕事をしている。開発途中で調査をやる。人間の嗅覚に驚かされることがある。よく調査中に「この味はどこかで食べたことのある味」「この香りは何かの商品の香り」と言われる。同じ香料を使っているからだ。作り手側はきつとわからないだろうと思っていたが、人によってははつきりわかるらしい。悔れないものだ。横道にそれだが、会社を辞めた後で商品の臭いをかいだら現役時代の社内の出来事をたくさん思い出すのだった。


それでは東京の香りは？ 街角でふと感じる沈丁花、モクレンの香りがあるが、たまに感じる程度で街を覆うほどの香りではない。街を覆う香りは排気ガス、早朝の生ゴミの臭いと、毎日使う通勤電車のおいが特有の臭いだ。たとえば夏の日の朝、暑いのに上着を着て行かなくてはいけないサラリーマンの汗の臭い、女性の香水の香りがせてもの救いだ。終電間近の車両に充満するアルコール臭も強烈だ。残念ながらそれもい臭いとは言えない。人間が密集すると自然の香りがなくなり、人の臭いばかりになってしまうのだろう。家内がアロマテラピーを始めたのも何となく理解できる。

そんな東京で東京鶴翔同窓会が開催される。一人でふと思いつく庄内

ではなく、懐かしい顔、旧友の音信、食べ物、それと庄内弁にふれることができる。きつと庄内の人々がたくさん集まれば懐かしい臭いもするだろう。今から楽しみだ。



MITSUI
MITSUI HOSPITAL



産婦人科 三井病院
小児科

鶴岡市美咲町28-1 [PAL北隣り] TEL.22-3290

診療時間 午前9:00~12:00 午後2:00~6:30
 特殊外来 午後2:00~3:00 一般外来 午後3:00~6:30
 休診日 水・土曜日午後、日曜日・祝日
 Eメール isn01414@net.sfsi.co.jp

院長 三井 盾夫
副院長 三井 卓弥 (S63年卒)

水処理プラントの専門メーカー

鶴岡工業株式会社

代表取締役 倉田 正

住所：東京都大田区京浜島2丁目3番7号
電話：03-3790-2233 (代表)

池田法律税務事務所

弁護士 池田 徳博 (74回)

鶴岡市本町三丁目2番3号
TEL 0235(25)8810・FAX 0235(25)8811

庄内弁は人を香らす



佐藤 正光
(86回卒)

近頃、藤沢周平の小説などで鶴岡の名はよく知られるようになって、鶴岡のことを友人に尋ねられる機会が時々あります。春の化物祭りや冬の山伏はめずらしい年中行事だし、ドンガラ汁や芋煮などは郷土料理ですが、やはり庄内弁は一番の特色だと思えます。

私は大学の時から東京で暮らしておりませんが、学生時代には友人などとの日常会話は庄内弁で通してありました。共通語が話せないわけではありませんでしたが、どうも頭の回転と言葉の出具合が一致せず、ドモリがちになるし、東京の人の早い話の展開にはついてゆけなかったから止めたのです。「う」で、「のう」と言っで一呼吸置くと頭が回転して話しやすかったわけです。批判する人もいたものの、のどかな人だとかゆつたりするとかよく言われました。

しかし、平成二年に中国の蘇州大学に日本語教師として赴任すると、さすがに庄内弁を教えるわけにもゆかないので、中国での一年間は共通語で通しました。外国人の話す日本語はゆつたりしていますから、会話

のペースは自然で、全く問題はありませんでした。ところが帰国してみると今度は庄内弁が出てきません。「方言はどうしたの」とよく言われましたが、どうやら頭の回転が共通語に合ってしまったようでした。また、日本語を教えていたことや研究者という立場上、言葉遣いに敏感になったようで、言葉を正確に合理的に発するように気づかうようになりました。今では、講義や研究発表のために共通語になってよかったですけれども、庄内弁の良さは何よりも話しぶりや、人柄のじみ出る情緒にあるのだということを明確に意識しています。

中国の大学者(立派な学者)は皆つい最近まで方言で話していました。名門、北京大学の教授でも、きつい南京語とかで平気で講義していました。聴いている学生はほとんど聞き取れなかったらしいですが、何ヶ月もかかって言葉を理解し、懸命にノートを取ったそうです。文字の国と言われる中国の大学者とは、二千年來伝えられる経典を丹念に読み、行間を読み取り従来の解釈を把握した上

で、新たな説を示して歴史に名を刻むような人のことです。お会いしたことのある先生は何方も気品高く、穏やかでしたが、話し出すとさっぱりわからない中国語で熱く語ってくださいました。今は中国でも会話は通する方が尊ばれ、学者も共通語を話します。しかし、あの方言で語られる個性豊かな老師(ラオスイ)の姿は印象深く、今でも手元に置かれた花茶の香りとともに深い人間味が思い出されます。



藤沢周平作品、相次いで映画化へ

「隠し剣 鬼の爪」(監督山田洋次)

庄内を舞台に撮影快調！今秋公開へ！

数々の映画賞を独占した名作「たそがれ清兵衛」から2年、山田洋次監督は再び藤沢周平の原作を元に「隠し剣 鬼の爪」をクランクインしました。今夏完成予定、今秋公開予定とのことです。隠し剣シリーズ中の「鬼の爪」と短編「雪明り」を山田監督と盟友朝間義隆が脚色。激動の幕末、おなじみ海坂藩を舞台に、政争の渦に巻き込まれ翻弄されていく下級武士の心の葛藤と友情、そして農家の娘との切ない愛を描きます。出演は主人公片桐宗蔵に永瀬正敏、その親友島田左門に山田映画の常連吉岡秀隆、剣の同門であり友でありながら宿敵となる狭間弥一郎に小沢征悦、ヒロインきえ役に松たか子、脇を緒方拳、田中邦衛、暗儀千恵子、田中泥らが固めます。製作スタッフも前作と全く同じ日本映画界最強のメンバーで臨んでいます。

湯野浜温泉に泊まって『運転免許』を…

鶴岡自動車学園



〒997-0045 山形県鶴岡市西新旗町6-34

代表取締役 齋藤 征士(昭和37年)

TEL 0235-22-6200(代)

http://www1.ocn.ne.jp/~tsuruoka/ E-mail:tsurums@poplar.ocn.ne.jp

祝 第34回東京鶴翔同窓会総会

第66回(昭和34年卒)3年3組
有志一同

山田監督は、「清兵衛」を完成させたときからもう一度時代劇を作りたいと思っていました。そして作るならやはり藤沢さんの原作で。ということも山形庄内藩を舞台に、幕末の動乱期日本が大きく変わるうとしていた不安な時期、そこにこそ僕が見つけた鉱脈があるんじゃないかなあと思っただけです。そこに若い侍の苦悩、恋、それらを取り巻くさまざまな激しい闘い、その人間たちを描く中で今日の私たちの思いや悩みと重なり共感と不安を得られるのではないかと、そう思いながら脚本を書きました。」と映画化への抱負を語っています。

また「現代の私たち日本人も10年先のことはさっぱりわからない。振り返ってみたらひどい先祖の歴史を辿ってきたという反省もあるし、そのことはきつと幕末に生きた人たちも、特に侍たちと同じだろう。彼らにはいろいろ勉強もしているし、アメリカ、フランス、イギリスなどの軍事力に怯えていたに違いない。どうしたらそれに追いつくのかってことに死に物狂いになって

愛しの庄内弁



鈴木 れい

(86回卒)

映画「たそがれ清兵衛」がアカデミー賞外国語映画賞にノミネートされた。そのとき、郷里の友人が「たそがれ清兵衛が選ばれたと言ったことは、庄内弁が選ばれたと言ったことじゃあないか」と言った。うーん、そういう考え方もあるかと私は感動した。外国語映画賞と言うのはアメリカから見て外国の映画作品の中から優れたものを選考すると言ったことなのだろうが、何だか彼の意見は妙に説得力がある。映画だから日本国中の人に解るようにすっかりそのままの庄内弁と言つわけにはいかないが、あの映画の中では庄内弁をとてよく取り入れてあつたし、真田広之さんが使う庄内弁はなかなかのものだった。庄内弁あつてこそその作品だ、と言つてしまつにはあまりに庄内人の手前味噌だろつか。それに鶴岡を舞台にした作品だと言つ自慢気な気持ちもあるからだろう。

18歳で故郷鶴岡を離れてから25年、もう故郷で過ごした年月よりもとくに長くなつている。今ではたまたま帰郷してもすぐには上手な庄内弁を使えない。頭の中での思考がそうなつていないのだからいちいち翻訳しなければならぬようなものだ。それに何となく気恥ずかしいような気持ちもある。上手く言えないけれど、心を切り替えて「使つぞ！」と思わないと出てこない。でもそうやって使い始めてしまえば次々といろんな言葉を思い出す。そしてその庄内弁を話している自分がうれしくなってくる。心に秘めていた恋を思い切つてうちあげたらその恋が実つて有頂天になつてしまつていような…なちやつて。

学生のころは長期の休みで帰省したあと郷里の友人と一緒に東京に戻つてくるとき、「いなほ」に乗り込んだ頃は庄内弁丸出しで話していたのに東京に近づくとつれてだんだんお互いに無口になつてくる。そしていよいよ山手線に乗り換える頃になるともうほとんど言語障害だ。思つていふことが上手く話せない。ついさつきまで庄内弁で会話し、そしてそれが長年当たり前だった相手と急に東京に来たからって東京の言葉に変えて話すことができないのだ。でも今は逆になつていふのだ。帰省して

も子供が一緒だったりするので、たとえ庄内弁の相手がいたとしても上手く使えないのである。この一年半くらいは実家の老親の事情があり時々一人で帰省する機会が増えているが、そんなときは少し慣れてくると、さっきの「恋が実つた」状態になれるのである。

話は戻るがはじめに庄内弁がノミネートされたと言つた友人は中学時代からの仲間の一人で、いまはインターネットで掲示板形式でその数人の仲間たちと、それぞれが思い思いのことを書き込んだりして交流している。例の話もその中のことだ。

数年前しばらくつきあいのなかつた彼らとメールを通して交流が再開し、帰省の折には子供連れで一緒に海に行つたり、夜は大人がお酒を酌み交わしたりするようになった。メールには手紙のような手間もなければ、電話のように相手の都合や時間を気にすることもない。特に気心の知れた仲間内ならなおさらだ。急ぎの用がなければすぐに返事するでもなし、お互いの都合の良いときにやり取りすれば良いのだから。

パソコンやインターネットの普及は、こんな再会をもたらしてくれた。ただ、郷里の友人との会話でも文字では庄内弁はうまく表せないようだ。やはり会つて話さなければ…。

軍事力を獲得することから科学技術や欧米化が始まつたんじゃないかと思つて。随分とトンチンカンな試行錯誤を繰り返しながら。そんなことをこの映画のバックグラウンドとした。ガラガラと日本の国の屋台骨が崩れてしまつてはいないかということと、永瀬君や吉岡君演ずる侍たちは不安として感じていたに違いないし、事実そうなるわけです。人々は不安の中でも恋をする。時代を先取りしようと思命になつて、結果として躓いていく。「マクベス」なんですよ。弥一郎が小さなマクベス、宗蔵がハムレット、左門はハムレットを支えるホレーシオ、もちろんきえがオフィリアです。そんな風に頭に思い描きながら構想を練つた、このことです。

庄内という一地方の風土・生活・言葉そしてその時代を克明に丹念に描ききる事によって、また遠い時代に生きた先祖たちに限りない愛情と慈しみを覚えつつ描く。山田監督ことによつて、私たち現代人にも深い感動を与える新たな時代劇の傑作が生まれそうです。えっ！ご期待！

(名作「蝉しぐれ」映画化！羽黒町に1万坪のオープンセット完成！)

「蝉しぐれ」は、昭和61年7月から翌年4月まで山形新聞夕刊に連載され、その後単行本化、文庫本化(文芸春秋社刊)が進むにつれて、数多くの読者の心を捉え、藤沢作品の中でも特に名作の誉れ高い作品としてあまりにも有名です。本作の監督、脚本を手がける黒土三夫の13年に亘る映画化への熱意が実り、2003年11月から実景撮影がスタートし、およそ1年かけて日本の四季の移ろいを丹念に切り撮るといふ徹底ぶり。さらに撮影の主な舞台となる羽黒町には1万坪の広大な土地に海坂藩の普請組長屋のオープンセットを完成させ、これまた1年間かけて自然の風合いを加えた上で撮影に入るといふテレビではとても真似のできない本格的な取り組み方です。完成は2005年2月予定。

主役の文四郎には、映画初出演の市川染五郎、悲しい恋の相手おふくには木村佳乃が扮し、小和田逸平にはおかわりよく、島崎与之助には今田耕司など異色のキャストラインアップです。この作品もまた、えっ！ご期待！

今回も、楽しい、うれしいイベントが盛りだくさんです!!

熱唱!! シヤンソン
ライフ: 佐藤由紀子さん
都内のステージで活躍中の佐藤さんは、慶応大学法学部出身の異色の歌姫。豊かな表現力で時に切なく、時に物憂げに、時にユーモラスに唄いあげます。ライブステージならではの迫力を堪能ください(7月には鶴岡での公演も予定)。

東京鶴翔同窓会・幹事名簿

(平成十六年四月一日)

Table with 2 columns: 平成十六年四月一日 (平成十六年四月一日) and 年度幹事 (年度幹事). Lists names and birth years of members.

編集後記

「庄内弁と聞いて思い出すことがある。父の病没後、その故郷である鶴岡へ母と幼い子供3人で福岡から疎開した。神戸出身の母は、何かに付け、たしよもの言葉に曝され、次いでみじよねが家族の周りを行き交った。言葉は行為と対になって初めて人の心に残る。対極とも思える二つの言葉が、日本中どここの人間集団でも見られるありふれた現象と気づくまで、「庄内人」と庄内弁のイメージとなっていた。それがごもあろうに、「庄内弁で喋ろう」と同窓会誌の編集を引き受けることになろうとは...

取り掛かってみて当初の目論見と違ったことが幾つかある。まず、執筆の引受け手がなかなか見つからなかったこと。二つ目は、原稿を依頼した方の多くが、今回のテーマの冒頭に「ある、イー」に難色を示したことである。一つ目に関しては、幅広い年次に打診したものの、横の繋がりはともかく、上下の交流は疎遠なのが同窓会の常であり、残念ながら実行委員と同年次に偏ってしまった。二つ目は原稿の締切期限が近くにつれ、「同窓会誌は会員の消息伝達が主目的と割り切り、テーマにはあまり拘らないこと」で切り抜けた。

やっと届いた原稿をパソコン入力するソフトは、庄内弁のルビや文節一括変換は無理な注文だし、加えて、独特の抑揚曖昧な発音、助詞を省略する庄内弁は文字表現に不向きなことを思い知らされた。そんな原稿の中で、何人かの方がたそがれ清兵衛に触れている。長く異郷で暮らすうちに埋火になった郷里と庄内弁への郷愁と誇りが、「清兵衛効果」とでも言おうか、この映画を機に庄内出身者の胸中に燃りだしたように思えるし、編集子にも確かに沁み込んでくるのを感じる。同窓会という急拵えの舞台に飽き足らず、かの地の人達の「標準語話」した会話の端々から洩れる庄内弁を改めて聴きに行きたい。そして「たしよもの」が、もはや「死語」になっていることを望みたい。

最後に、多忙な中、原稿をお寄せ頂いた方、協賛の広告に応えて頂いた方から感謝とともに、紙面の都合上、心ならずも割愛せざるを得なかった方に深くお詫び申し上げます。

(NM生)

Table with 2 columns: 祝 第34回 東京鶴翔同窓会総会 (祝 第34回 東京鶴翔同窓会総会) and 皆様のお出でを (皆様のお出でを). Lists names and birth years of members.

